

ICOM-ASPAC KYUSHU, JAPAN 2018

2018.12.1(Sat)-12.2(Sun)

九州国立博物館 [福岡・太宰府]

Kyushu National Museum [Dazaifu, Fukuoka]

国際シンポジウム
International Symposium

「文化財が未来へつなぐ —自然災害と博物館—」

Cultural Heritage for Sustainable Future -Natural Disasters and Museums-

参加無料
FREE

どなたでも参加できます。

Anyone can attend

日英同時通訳

Simultaneous Interpretation Available

12/1 (Sat) 13:30-17:00

開催式 Opening Ceremony

第1部 基調講演 Keynote Speech

第2部 「世界津波博物館会議」成果報告 Report of World Tsunami Museum Conference

12/2 (Sun) 10:00-17:00

研究発表 Expert Meeting

パネルディスカッション Panel Discussion

閉会式・太宰府宣言 Closing Ceremony

会議の詳細・お申込みはこちらから

www.kyuhaku.jp/ASPAC2018/



ICOM-ASPAC実行委員会事務局 (九州国立博物館総務課内) 福岡県太宰府市石坂4-7-2

TEL 092-918-2818 E-mail aspac2018@kyuhaku.jp

主催 ICOM-ASPAC、ICOM京都大会組織委員会、ICOM日本委員会、公益財団法人日本博物館協会、独立行政法人国立文化財機構、九州国立博物館・福岡県
後援 外務省

ICOM-ASPAC 日本会議2018

2018年12月1日(土) - 12月2日(日)

会場：九州国立博物館 (福岡県太宰府市石坂4-7-2)
[太宰府天満宮横]

ICOM-ASPAC (International Council of Museums Asia-Pacific Alliance: 国際博物館会議アジア太平洋地域連盟) は、アジア太平洋地域のICOM加盟国 (20か国) 間の情報交換、交流推進を目的として設立された組織で、例年年次会合に合わせて、広く開催国の方々に参加いただけるシンポジウムを開催しています。

本年度のシンポジウムでは、「文化財が未来へつなぐー自然災害と博物館ー」をメインテーマに、各国専門家による事例報告、パネルディスカッションなどを行うこととしています。

日本では10年ぶりに開催される本シンポジウムは、アジア太平洋地域の博物館関係者と直に交流できる絶好の機会です。国内の博物館関係者、博物館に関心をお持ちの皆様の参加をお待ちしています。

お問合せ・お申込み先

ICOM-ASPAC 日本会議2018実行委員会事務局
(九州国立博物館総務課内)

TEL: 092-918-2818

FAX: 092-918-2810

E-mail: aspac2018@kyuhaku.jp

URL: www.kyuhaku.jp/ASPAC2018/

※ 会議の詳細については、随時ホームページで公開します。



会場のご案内



西鉄太宰府駅から徒歩約10分

<西鉄太宰府駅までのアクセス例>

- 西鉄福岡(天神)駅から西鉄電車で約25分
(途中、西鉄二日市駅で乗換)
- JR博多駅から太宰府ライナーバス「旅人」
で約40分(福岡空港国際線ターミナル経由)



国際博物館会議 (ICOM) 京都大会2019

世界中から3000人のミュージアム関係者が京都に集結!

3年に一度のICOM大会が2019年に日本で初めて開催されます。世界141の国と地域から、3000人を超えるミュージアムの専門家が京都に集まります。文化のつなぎ役としての「ミュージアム」の可能性を、世界各国の博物館関係者と一緒に考えてみませんか?



[日時・開催地]

2019年9月1日(日)~9月7日(土)

テーマ:文化をつなぐミュージアム
ー 伝統を未来へー

会場:国立京都国際会館(メイン会場)

京都府・市内の博物館や文化施設、大学など
どなたでも参加できます

<http://icom-kyoto-2019.org/jp>

京都大会の多様なプログラム

1. 基調講演・パネルディスカッション

国際的著名人の文化・芸術に関するプレゼンテーションを
間近で聴講できます。(日本語同時通訳付き)

2. 各国際委員会のセッション・オフサイトミーティング

30の様々な分野の国際委員会のセッションでは聴講する
だけでなく、発表もできます。

(国際委員会の一例)

歴史・考古学、装飾美術・デザイン、展示、セキュリティ
博物館教育、広報・マーケティング、科学技術、自然科学
大学博物館、マネジメント、AV技術とソーシャルメディア

3. ミュージアムフェア(展示会)

博物館・文化に関わる多彩な企業・団体の最新設備・
技術・サービス等の情報を得ることができます。

4. 見学ツアー

京都府・市内を中心に、関西一円や遠方への大会参加者
限定のツアーに参加することができます。

5. ソーシャルイベント

大会中は夜間開館する博物館も。
京都全体が、まるごとミュージアムになります。

